

# 学校評価アンケート（保護者の皆様・津ノ井地域の皆様）のご意見に対する回答

鳥取工業高等学校

## 保護者の皆様・津ノ井地域の皆様へ

学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。今後の本校教育に活用させていただきます。

なお、皆様からいただきましたご意見について、下記のとおり回答します。

今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 1 コロナ禍の学校行事について

「学校祭や体育祭等の行事がなかなか普通にできない中、できるなりに開催してくださり、息子なりに楽しかったようです。」「昨年、今年と、子供が楽しみにしていた行事ができず、不完全燃焼に終わってしまう高校生活を残念に感じています。」などの声をいただきました。

鳥工祭・体育祭は、昨年同様、生徒と職員での開催となりました。生徒たちは急な変更にも柔軟に対応し、見事成功させました。昨年見合わせたステージ発表も工夫しつつ行い、各教室へのオンライン配信により生徒たちが鑑賞するとともに、学校ホームページでもYouTubeで限定公開しました。

企業見学は、秋以降感染症対策をしながら各学年で再開し、また、期間こそ短縮されましたが、2年生の研修旅行も実施することができました。（研修旅行先は感染拡大状況を見極めながら判断し、「レベルⅡ」と判断された区域への旅行は見合わせました。）

2年生のインターンシップは残念ながら中止となりましたが、キャリア指導についてはオンライン配信により、ほぼ例年並みに実施することができました。

行事の中止や内容の変更が相次ぎましたが、仲間たちと困難を乗り越えながら共に歩んできた高校生活は、何物にも代えがたいものです。努力を惜みず取り組んだ自分たちの姿を卒業の際にたたえ合い、喜びとして分かち合っていたいただきたいと思います。そして、高校時代にできなかったことを、少し形を変えながら、将来同窓生として集まり、実現していただきたいと思います。

様々行き届かない部分もあったかと思いますが、学校としましても現状でできることは今後もしっかりと取り組みたいと思います。

## 2 保護者の皆様との連携について

「先生との距離感を義務教育の時よりも感じます。」「コロナ禍なので仕方ないですが、もう少し保護者が学校に行く機会を増やしていただけたらと思います。」などの声をいただきました。

この2年間、コロナ禍の影響により学校行事が縮減され、保護者の皆様にご来校いただける機会が減りました。年2回のPTA懇談を設けていますが、直接の電話相談や面談の希望にも対応させていただきます。また、学校代表メールに要点と連絡先を書いて送付していただければ、こちらから連絡させていただきます。（学校代表メールアドレス toriko-h@mailk.torikyo.ed.jp）

## 3 相談体制について

「自分の悩みとか思いを先生に話すことができるようで、ありがたく、聞いてもらえるそのことが本人も嬉しいようです。否定ではなく共感してもらえる、それが嬉しいようです。」「生徒一人一人悩んでいると思いますが、それを見抜ける大人が少ないように思います。」などの声をいただきました。

クラス担任、教科担任だけでなく、教育相談係やスクールカウンセラーなど、生徒の悩みに組織的に応える体制をとり、一人一人に寄り添えるようにしています。十分に対応できていない面もあると思いますが、ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。

また、本校にはにぎやかな生徒が多い一方で、図書館などで落ち着いて過ごすのが好きな生徒たちもいます。一人一人が教室への居づらさや不安を感じていないかどうか、常に気にかけていきたいと思います。思春期の生徒は、悩みが複合的で抱えこみやすくなります。生徒たちが安心して過ごせるよう、教職員一同これからも心掛けていきたいと思っています。

#### 4 学習・授業について

「日々の授業をしっかり受け、進路についてきちんと考えていくアドバイスをいただけたらうれしいです。」「分かりにくい授業があると子供が言っていました。」などの声をいただきました。

本校では、教職員間の公開授業や外部講師による研修等を計画的に実施し、授業改善に向けて取り組んでいます。学校評価アンケートの結果を見ますと、授業に対する生徒の満足度がこの3年間で大きく上昇しており、現在、8割以上の生徒が授業に対して肯定的にとらえている状況にあります。

とはいえ、工業の専門教科を初めて高校で学ぶ上での難しさもあると思いますし、中学校の時よりも難しい学習内容を理解するために授業時間以外に自主的に勉強することも大切です。特に理数系科目については、演習をして確認することなどの小さな取組みを重ねることで日々の授業理解が進むということもあります。全ての生徒が満足できる授業を目指し、全教職員で引き続き取り組んでいきたいと思っています。

#### 5 ICT機器の活用について

「授業でノートを活用せず、宿題をスマートフォンで提出するのであれば、入学時にパソコンを購入する方がいいと思います。」「病気で長期的に学校に行けない場合、オンライン授業等の対応をとっていただけるとありがたいです。」などの声をいただきました。

現在、全国的にICT機器が教育活動に導入されつつあります。本校でも、授業中にノートをとったり宿題のプリントを提出したりするいわゆる従来型の学習と並行して、学校図書館のタブレットを活用した授業を行ったり、教育用アプリを利用してオンラインで宿題を提出する授業も行われています。そして、オンラインで宿題を提出する場合、現状では自宅のパソコンや生徒個人のスマートフォンを使って提出することになります。

来年度の新入生より、県の指定するタブレット端末を入学時に購入することになっており、それに伴いパソコン等を活用した授業や宿題のやりとりがさらに増えていくこととなります。今後、公開授業や研修等を通じて、タブレット端末を活用した教育活動が一層充実するよう努めるとともに、様々な理由で学校に行けない生徒への対応などを含めたパソコン等の有効な活用法について引き続き検討していきたいと考えています。

#### 6 情報発信について

「コロナ禍ということもあり、学校の行事や様子が見えづらいつ感じます。」「ホームページでの情報発信をもう少し積極的にされてもいいと思います。特色をアピールして学校の良さを知ってもらってはいかがでしょうか。」などの声をいただきました。

コロナ禍の影響で、保護者の皆様の学校行事へのご参加をやむを得ずご遠慮いただく中、学校の様子が見えづらく、ご心配をおかけすることとなったと感じています。

本校の特色や良さを多くの皆様に知っていただきたいとの思いで、ホームページの運営を行っていますが、学校行事、授業の様子、部活動の様子、進学・就職情報だけでなく、学校の特色を大胆にアピールするよう、引き続き努めていきたいと思っています。

また、本校では、学年だより・クラスだよりを各学年・各クラスの裁量で作成・配付しています。生徒たちの学校生活の様子をできる限りお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

## 7 資格・検定について

「資格取得の際も熱心に対応してくださり合格できました。」「1年次の初めにジュニアマイスター制度を紹介し、計画的に資格取得を勧めてサポートしていただけたら、生徒自身も自信がつき、就職や進学にも有利になると思います。」などの声をいただきました。

本校では、卒業までに全員が資格を取得することを目標に、各科・各担当が取り組んでいます。

年度初めにジュニアマイスター制度を含めた「資格検定ガイドブック」を作成し、各クラスで詳しく紹介するとともに、ホームページにも資格の年間スケジュールを掲載し、検定試験等の前には合格に向けた指導も行っています。

## 8 進路指導について

「就職・進学に対しての面談を増やしてほしい。」「懇談だけでなく進路の説明会等を開いていただけると、どういう道が我が子に合うのか、もっとよく分かるような気がします。」などの声をいただきました。

年2回の面接週間を設けるとともに、年3回の進路志望調査によってクラス担任が生徒の進路志望の把握に努めています。さらに、本校ではクラス担任だけでなく、専門学科の職員も生徒たちと深く関わっています。昼休みや放課後に個別に相談の機会を設けることができますので、遠慮なく申し出ていただければと思います。

また、3年生に向けた進路説明会や1・2年生を対象とした分野別進路ガイダンスなど、外部講師を招いた進路行事等を例年実施しています。本年度もコロナ禍の中できる限り実施しましたが、内容の変更や保護者の参加の見合わせにより、ご心配をおかけしたことと思います。今後も感染症の対応をしながらとなりますが、進路に関する行事をできる限り実施するよう努めていきます。

担任や科の職員が支援をしながら、またクラスの友達とも語り合いながら、最後は生徒自身の手で進路を切り拓くように指導していきたいと思っています。

それぞれのお子さまが目指す進路実現・自己実現に向けて、職員間及びご家庭と連携を取りながら努めていきますので、ご家庭におかれましてもお気づきのことやお悩みのことがありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

## 9 スマートフォンの使用について

「休憩の時ぐらいいスマートフォンを使わせてあげてください。」との声をいただきました。

本校では現在、休憩時間や放課後を含め、携帯電話・スマートフォンの校地内での使用を禁止しています。

携帯電話・スマートフォンの使用規定についてはその都度見直していますが、校内での使用については、慎重に判断しなければならないと考えています。

## 10 身だしなみについて

「頭髪検査の基準が分かりません。同じような髪型をした生徒の間で不公平は出ないのでしょうか。ピアスの指導はどうしているのでしょうか。」との声をいただきました。

校則を守ることは、集団生活をする上での基本的な生活習慣の確立や、社会のルールへの遵守やマナーの向上など、規範意識・倫理観・公共心の育成をねらいとしています。

頭髪についても明確な規定を定めており、頭髪検査の際には複数の教員で確認しています。ピアスを付けることや、ピアスの穴を開けることも禁止しており、万が一穴が開いている生徒がいた場合には穴が塞がるまで定期的に確認することになっています。

## 11 交通ルール・マナーについて

「登下校の時に広がって歩いたり、自転車で飛び出したり並進したり、ゴミを捨てたりすることがないように、指導をお願いします。」との声をいただきました。

交通ルールの遵守や交通マナーの実践は、一人ひとりがきちんと自覚して取り組まなくてはならないことと考えています。特に、自転車の運転は、一歩間違えると命の危険を伴うものであり、本校でも日頃から強く指導しています。また、交通ルール・交通マナーだけでなく、それ以外のルールやモラルもきちんと守るよう、注意喚起を行っているところです。

お互いが安全で安心に暮らせるよう、また生徒たちが立派な社会人となれるよう、引き続き指導を行ってまいりますので、お気づきのことがありましたら学校まで遠慮なくお知らせください。

## 12 あいさつについて

「生徒からあいさつしても返してくれない先生がいると聞きましたが、朝のあいさつくらいは投げかけてやってほしいものです。」との声をいただきました。

本校では「5S・あさひ」のスローガンを掲げ、あいさつ運動を励行しています。企業から「何よりも、あいさつをして声を交わし合うことができる生徒」を求められることもあります。

職員も生徒もしっかりと声を出してあいさつするように努めていきたいと思えます。

## 13 部活動について

「部活動の数を増やしたりして、もう少し活性化してほしいです。」との声をいただきました。

生徒たちは、日々元気に部活動に励んでいます。顧問の確保や活動場所等の関係上、部活動の数を増やすのは困難ではありますが、大会等で優秀な成績を収める生徒もいますので、ご理解ください。